

2. 調査

2.1 調査概要

長島ダムの試験湛水は、平成 12 年 10 月 31 日から平成 13 年 6 月 13 日に実施された。この際、ジョイントからの漏水が図 2.1～2.2 に示すようにサーチャージ水位時に最大 4,400 l/min となり、写真 2.1～2.2 に示すように堤体下流面からの漏水も顕著であった。このため試験湛水中は、セメントやベントナイト等の目詰材を吸引させる応急対策や、水面以上の継目に対する樹脂注入等を実施した。さらに試験湛水終了後に、本対策として横継目および水平打継目に対してセメントミルクの注入を実施した。その結果、再度水位を常時満水位まで上昇させた時の漏水量は 745.4 l/min に減少し、堤体下流面での漏水も写真 2.3 に示すように改善された。

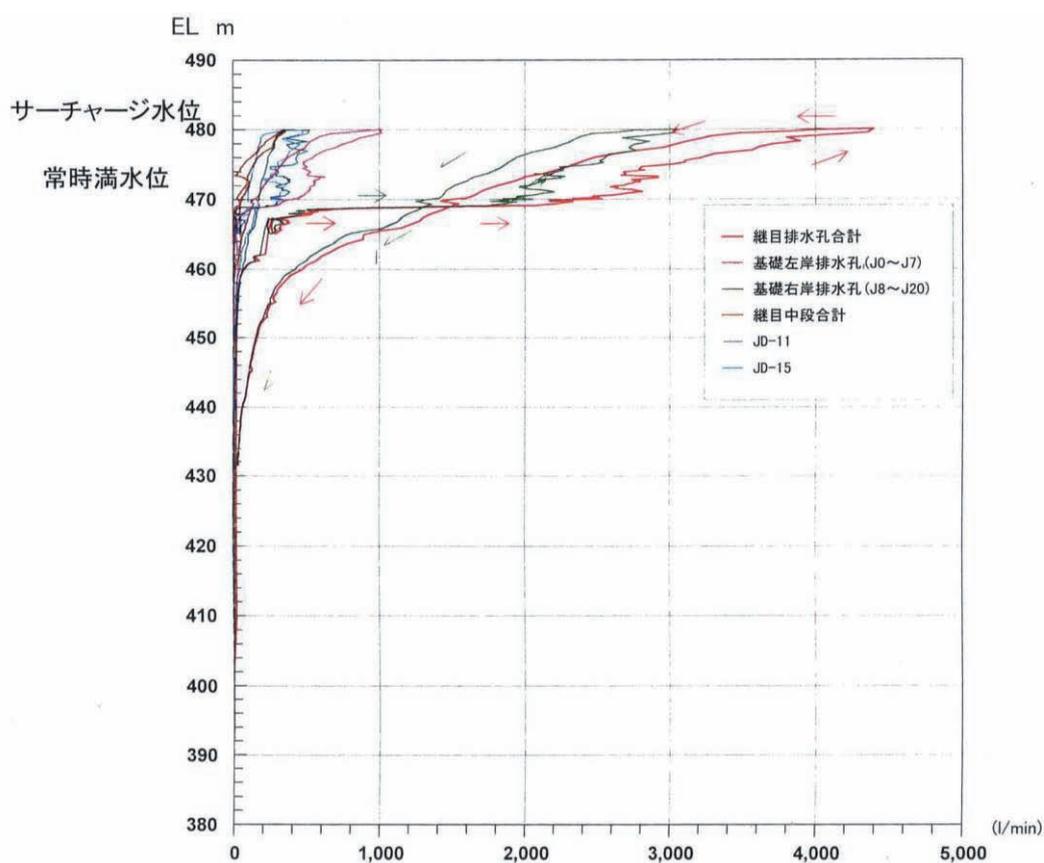


図 2.1 貯水位ジョイント漏水量関係図

(中部地方整備局)
自 2002年 01 至 長島ダム

(定期報告様式一1)

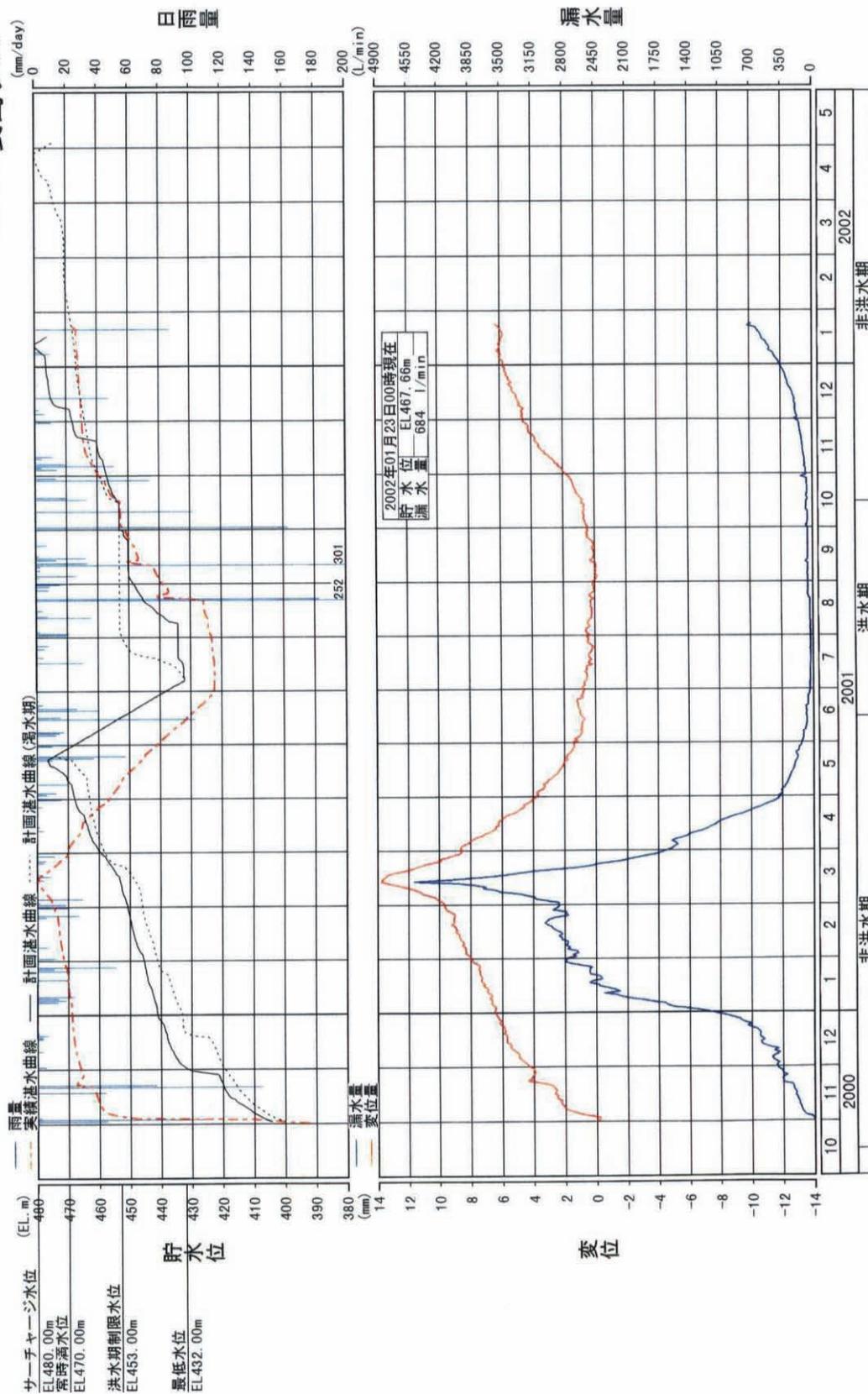


図 2.2 貯水位～漏水量時系列関係図